

猪崎紀人通信

いざきとしひと

大網白里市議会議員

2024.8.24号
Vol.5



皆さま こんにちは。季美の森より選出いただきました市議会議員の猪崎紀人(いざき としひと)です。市議会議員として、この街のために尽力いたします。私の活動内容は随時、この「猪崎紀人通信」でご報告させていただきますので、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

千葉県広報研究会に参加しました。

7月18日(木)、千葉商工会議所第1ホールにて、新聞社の千葉日報社グループが設立した「**千葉県広報研究会**」のオープニングセッションに参加してきました。この研究会は、経済停滞の影響で、経営状況が厳しい民間事業者や、人口減少など難しい課題に直面している地方自治体などを対象に、ビジネスの強みや地域の魅力を伝えたい相手に効果的に伝えることができるよう、**産官学**の担当者が交流しながら**広報の在り方を学ぶ**ことにあります。

今回は、県内の**産官学の広報担当者約100名**が集まり、広報に必要な心構えや具体的なPRノウハウなどを学びました。この研究会では、今後、自治体と企業に分かれ、それぞれの分科会にて、広報・情報発信に関する意見交換を行い、課題解決の糸口を探っていきます。年間を通じ、リアル開催のセミナーやワークショップなどのイベントがあり、会員同士の交流にて、広報力を上げていけると期待しています。**本市の広報の強化・充実**は市政運営に不可欠な課題の一つと考えており、秘書広報課も誘いましたが、まずは自分が参加し、そのうえで行政の人も巻き込んでいきたいと考えています。



農家の方に話を伺いました

本市は市内の殆どが**市街化調整区域**と言って、簡単に開発できない地域となっています。更にその中でも**農地が占める割合が非常に高く**、工業団地などを造ることができず、企業誘致をするには、とても時間がかかる市なんです。そう考えていくと、**農業を伸ばす**ことが自然と考えましたが、残念ながら私は農業の知識が乏しいので、市内で農業を営んでいる45歳の若手農家の方を紹介していただき、今抱えている課題や将来の展望など、お話を伺いました。

一番大きな課題は、何と言っても**少子高齢化による後継者不足**とのことです。伺ってみると私が思ったより深刻で、その方がお父様より引き継いだ田んぼは6町歩(ちょうぶ)^{※1}だったそうですが、今では25町歩になっているそうです。これは同じ集落で後継者がおらず、耕作放棄地になってしまうのを防ぐため、ご自身で引き受けているうちにこれだけの規模になってしまったそうです。これ以上を引き継ぐには法人化し、人を雇わなければ難しく、更に**倉庫や農業用施設**も必要になりますが、**市街化調整区域**でそれらの建設もできないと伺い、驚きました。他に稲の茎を食い荒らす**ジャンボタニシの問題**など、様々な課題を伺いましたので、これからも農業については勉強しつつ、追いかけていきたいと思っております。



※1 町歩≒ヘクタール=10000㎡ (東京ドームは4.7町歩)